

新潟市立 沼垂小学校



学校データ
【学級数】
17学級
【児童生徒数】
404人
【地域コーディネーター
の有無】
有

目指す子ども像 ふるさと沼垂を学び、ふるさと沼垂とともに未来に生きる子ども

1 はじめに

沼垂小学校は、今年度147周年を迎えた。校区は特色豊かで、歴史ある寺社が数多く存在し、沼垂テラス商店街をはじめ特徴的な店が立ち並ぶ。特に味噌や酒などの発酵食品が有名で「発酵食品のまち」と呼ばれている。8月の沼垂祭りでは地域一丸となり、沼垂地区を大いに盛り上げようという地域住民の熱い思いがひしひしと伝わってくる。

しかし、地域の高齢化が顕著で、町内行事や防災訓練などで今後の不安を抱えている。そこで、未来を担う子どもたちが、沼垂を学び、その良さに気づき、沼垂を支えていくという自覚をもつような教育プログラムが不可欠となる。当校では、総合的な学習を柱にふるさとを愛する子どもたちを育成していく。

2 取組の実際

(1) 6年総合的な学習「出eyeふれ愛沼垂のまち」

①インタビュー活動

沼垂地区には、様々な分野で活躍されている方が多数おられる。その方々と交流する中で、自己の生き方について考える活動を行っている。子どもたちは、インタビュー活動の中で、地域の方の仕事にかける情熱や創意工夫、地域への思いなどを聞き取り、自己の生き方についても思いを馳せていく。この活動は、子ども

たちにとって地域についての知見を深め、地域愛を育み、自己の生き方を考えるという非常に有意義な活動になっている。



②ウェルカム参観

ウェルカム参観では、地域の方、保護者を招待し、インタビュー活動で学んだ内容をステージ発表およびポスターセッションで紹介している。真剣に自分の思いを伝える子どもの姿は地域の方々に非常に好評である。



③職場体験活動

地域の方から学んだことを実際

の現場で生かそうと沼垂地区のお店や施設で職場体験活動を実施している。どの子どもも意欲的に活動に参加し仕事に取り組んでいる。体験を通して地域の方とふれ合い、地域への愛着を深めるとともに仕事の大変さや喜びを感じ取り、自身の将来を考えるよい機会となっている。



(2) 5年総合的な学習「いいね!沼垂~発酵の町」

①発酵食品の町・沼垂を知ろう

自分たちが住んでいる沼垂地区は、「発酵の町」と呼ばれていることを知った子どもたちが、発酵食品に関わって調べ活動を行う。その後、味噌作りに着目して学習を進めていく中で、地域にある峰村商店を訪ね、味噌作りの工程などを教えていただく。その道のプロフェッショナルと交流することを通して、子どもたちは、新たな知識を獲得するのみならず沼垂地区への愛着を深めている。



②味噌作り体験

味噌作りの工程を理解した後、実際に味噌作りを行う。味噌を作る際には、地域の方をゲストティーチャーに招き、「仕込み」「天地返し」など

を具体的な指導を受けながら作業に取り組んでいる。また、出来上がった味噌は、お世話になった地域の方へプレゼントするなど子どもと地域の方が一体となって活動に取り組む姿が随所に見られる学習となっている。



3 成果と課題及び本実践で育成された資質・能力

総合的な学習の時間を柱に地域教育プログラムを進めてきた。成果としては、子どもたちがこれまで以上に地域の方と関わる機会が増えたことである。それに伴って地域への愛着が一層深まる姿も見られている。また、高学年では、地域の方との交流から自己の生き方を見つめ直す場面が増え、より価値ある活動へとつながっている。一方、地域の協力についてもこれまで以上のものとなり、地域と学校が一体となって教育を推進している。

課題としては、協力してくださる地域の方が固定化されつつあることや高齢化が挙げられる。今後も持続的に地域教育プログラムを推進していく上で、人材発掘が急務となる。

4 おわりに

沼垂地区は特色豊かで、人情味あふれる地域である。そのため地域教育プログラムが推進しやすい地域である。今後もその利点を生かし、より質の高い地域教育プログラムを推進していくことが重要となってくる。地域とともに歩み、沼垂の未来を担う子どもたちを育成していく。